

AIは「発明者」になれるか？孫正義氏のAGIレベルで見るGemini 3 Proの実力

孫正義氏が定義するAGI進化のロードマップ

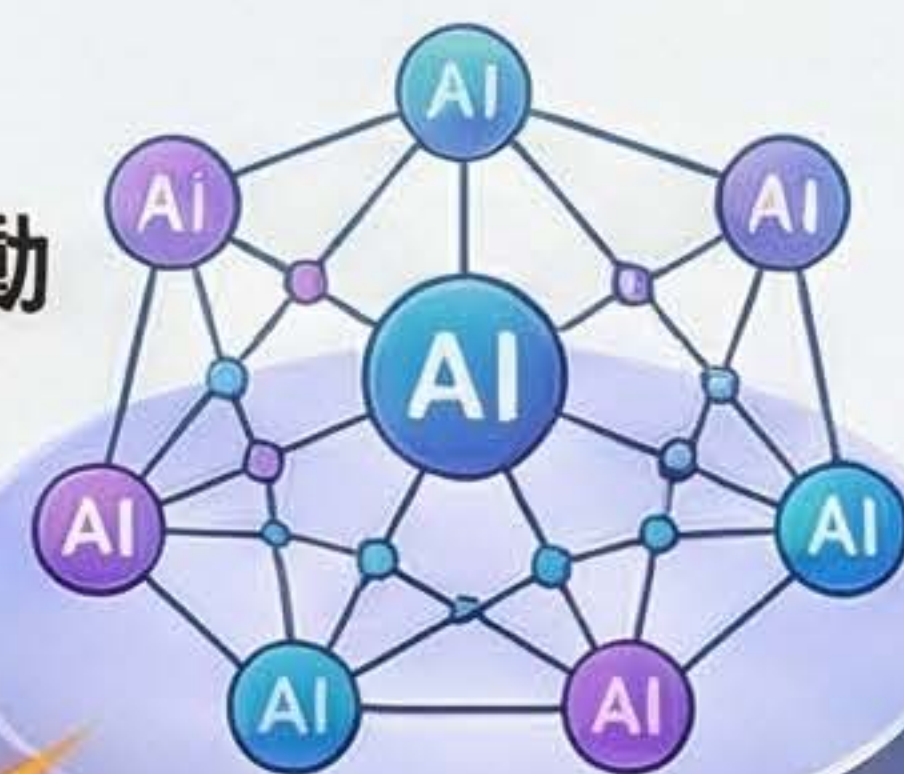
AIの真価は「知的財産」を生む 発明能力で決まる

孫氏は、AIが既存の業務を効率化するだけでなく、自ら新しい価値を創造する「レベル4」を重視している

レベル4：発明者

AI自体が新しい科学的原理や
技術を発明・発見する。

レベル5：組織的活動
AI同士が協調し、人間
とは別の経済圏や
社会を形成する。



レベル3：エージェント
人間の代理として、抽象的な
指示でタスクを完遂する。



レベル2：博士号レベル
複数の専門分野で人間の専
門家を超越する知識を持つ。



レベル1：会話能力

人間と区別がつかない自
然な対話ができる。



Gemini 3 Proは「発明者」レベルに到達したか？

結論：「プロト・レベル4」段階に到達

発明に必要な能力は持つが、自律性が不完全なため
「天才的な研究パートナー」と評価される段階。

戦略の分岐：天才パートナー vs 究極の熟練労働者

Gemini 3 Pro



知の探索
(未知のものを生み出す)

Gemini 3 Proは未知のものを
生み出す「知の探索」を追求。

競合 (GPT-5.1 Pro)



業務進行
(指示を完璧にこなす)

競合のGPT-5.1 Proは指示を完
璧にこなす「業務逆行」を追求。

未知の問題解決能力ベンチマーク (Gemini 3 Pro vs GPT-5.1 Pro)

FrontierMath
(未知の数学的帰納):
~19%

ARC-AGI-2
(抽象的推論+汎化能力):
45.1%



FrontierMath:
~14%

ARC-AGI-2:
17.6%

